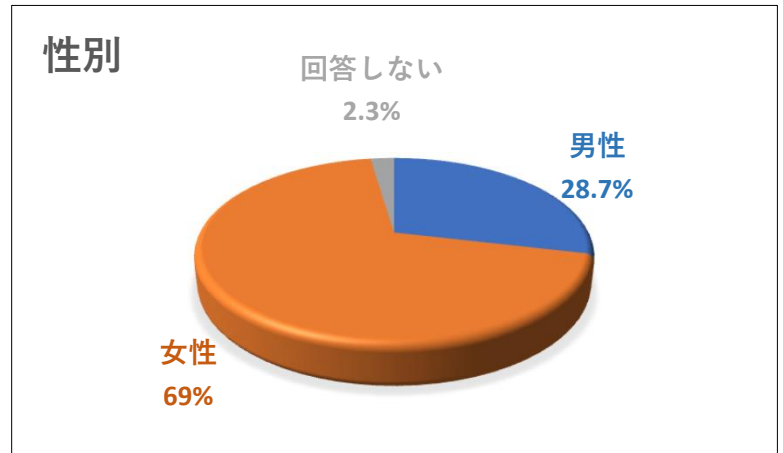


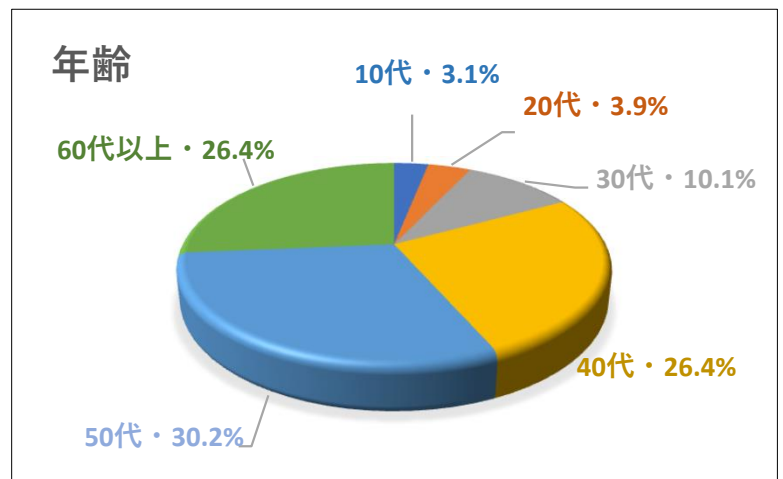
ご来場者様アンケート集計

※回収129名分

性別	129	100%
男性	37	28.7%
女性	89	69.0%
回答しない	3	2.3%



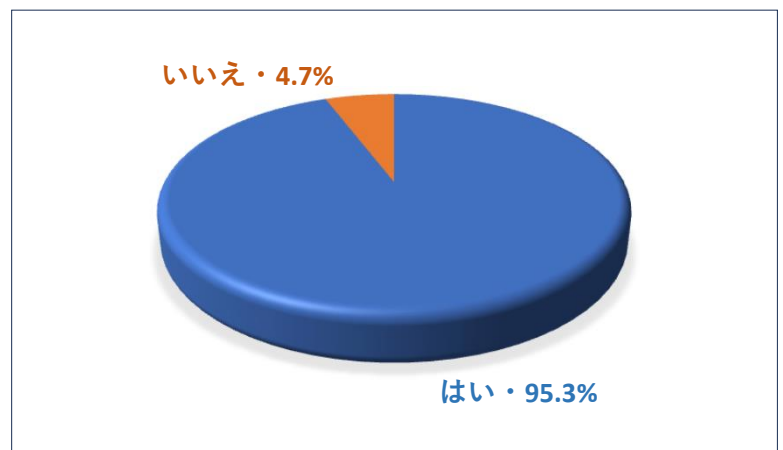
年齢	129	100%
10代	4	3.1%
20代	5	3.9%
30代	13	10.1%
40代	34	26.4%
50代	39	30.2%
60代以上	34	26.4%



① 6月24日、25日に開催されたG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合について

a. 開催されたことは知っていましたか？

開催有無	129	100%
はい	123	95.3%
いいえ	6	4.7%



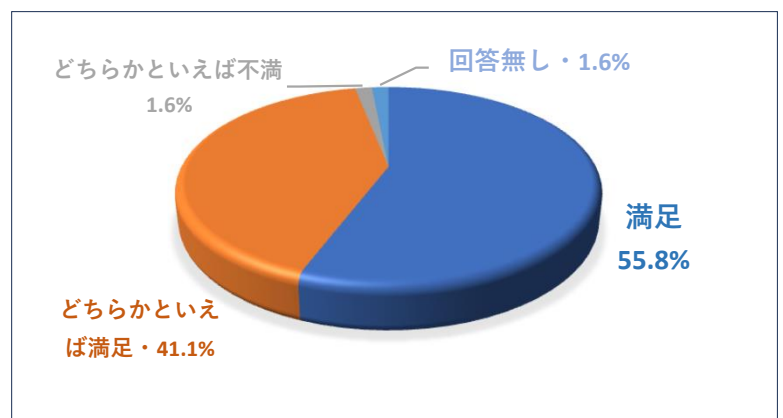
b. 開催されたことについての感想（どのようなことでも可）

- ・ 観光資源のPRが大きく取り扱われていた。
- ・ 詳しくは知らない、情報が得られなかった。
- ・ 本県で開催され感慨深い、誇りに思う。このまま全国一の県になってほしい。
- ・ 県民がジェンダー平等について考える良い機会になった。
- ・ これを機に本県の男女共同参画、ジェンダー平等が進むことを願う。
- ・ 地元日光が盛りあがって良かった。
- ・ 日本の担当大臣だけが男性で異質に感じた。
- ・ 本県で開催されたことは大変意義深い。一過性に終わらせず、意識付けを継続してほしい。
- ・ タイミングが良かった。150周年のチャンスを活かしてほしい。
- ・ 具体的に、県自治体がどのような取組が必要か明確にすること。県に頑張ってもらいたい。
- ・ 開催したことへの周知の場がもっとあっても良い。
- ・ 開催されたことは喜ばしいが、日本や本県の現状は誇れるものではない。ホスト国として恥ずかしい。

② 本日のシンポジウムの内容について

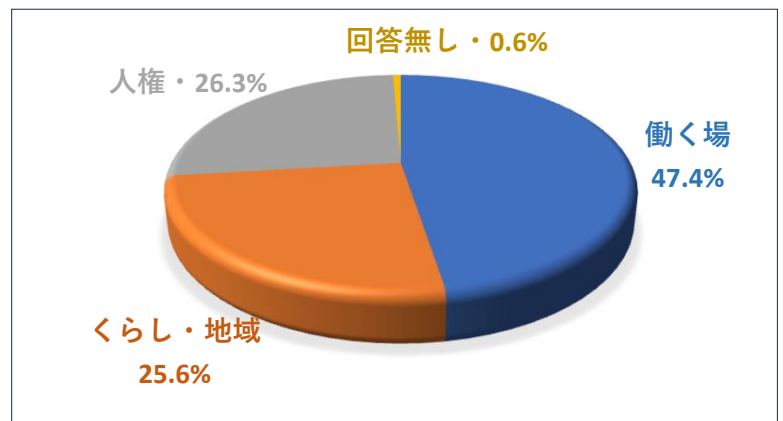
a. 本日のシンポジウムの全体的な評価をお聞かせください。

シンポ内容/評価	129	100%
満足	72	55.8%
どちらかといえば満足	53	41.1%
どちらかといえば不満	2	1.6%
不満	0	0%
回答無し	2	1.6%



b. どのテーマについて特に関心がありましたか？（複数回答有り）

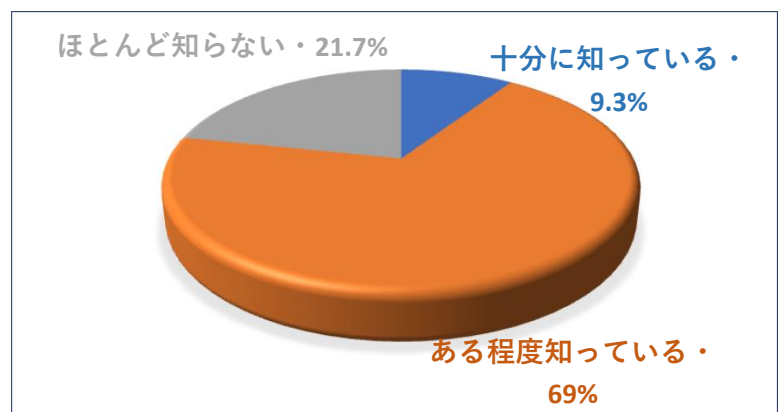
テーマ/関心	156	100%
働く場	74	47.4%
くらし・地域	40	25.6%
人権	41	26.3%
回答無し	1	0.6%



③ 現状の認識について

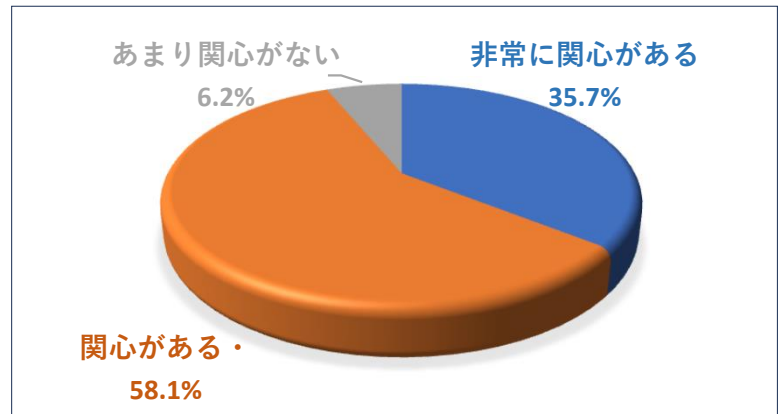
a. 栃木県での男女共同参画の現状についてどれくらい知っていますか？

参画現状	129	100%
十分に知っている	12	9.3%
ある程度知っている	89	69.0%
ほとんど知らない	28	21.7%
知らない	0	0%
回答無し	0	0%



b. 栃木県の男女共同参画の取り組みについてどの程度関心を持っていますか？

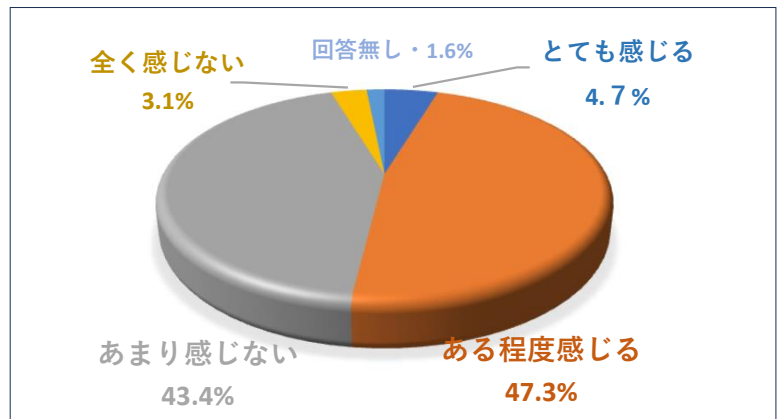
参画関心	129	100%
非常に関心がある	46	35.7%
関心がある	75	58.1%
あまり関心がない	8	6.2%
全く関心がない	0	0%
回答無し	0	0%



④ 「働く場」に関する質問

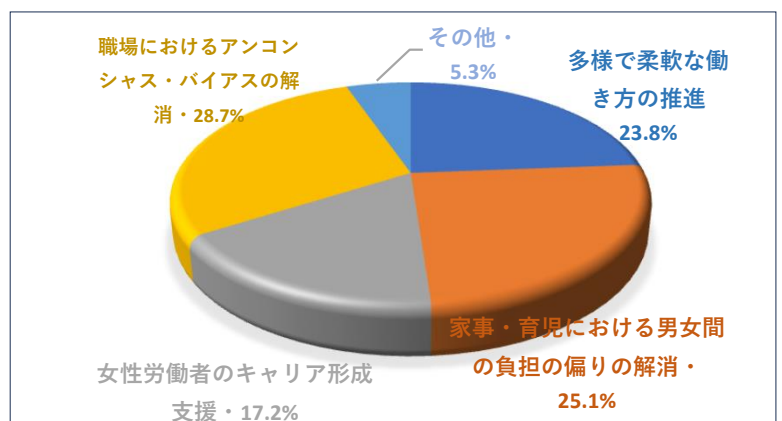
a. 栃木県での職場において、男女の平等な待遇やチャンスが提供されていると感じますか？

働く場/待遇・チャンス提供	129	100%
とても感じる	6	4.7%
ある程度感じる	61	47.3%
あまり感じない	56	43.4%
全く感じない	4	3.1%
回答無し	2	1.6%



b. 女性の活躍を促進するために、どのような施策や支援が必要だと思いますか？（複数回答有り）

働く場/施策・支援	303	100%
多様で柔軟な働き方の推進	72	23.8%
家事・育児における男女間の負担の偏りの解消	76	25.1%
女性労働者のキャリア形成支援	52	17.2%
職場におけるアンコンシャス・バイアスの解消	87	28.7%
その他	16	5.3%



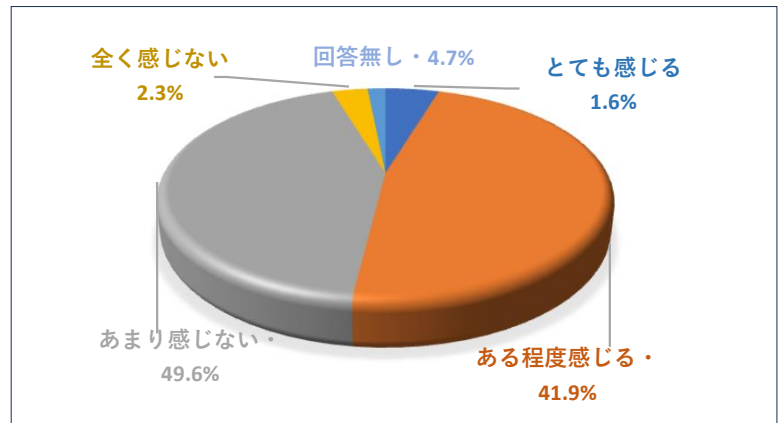
上記、その他

- ・ 入社時にこのような内容を勉強できると嬉しい。
- ・ 教育と親の指導、子どもの頃から意識を育てていくこと。青少年への教育
- ・ 具体的な好事例の紹介
- ・ ワークライフバランスの徹底、長時間労働の改善など全体的な働き方改革
- ・ 女性・男性それぞれのマインドセット、意識改革
- ・ データの活用、公表、アカウンタビリティ
- ・ 女性の進出の大切さ、女性の少ないことなどの広報
- ・ 女性が活躍している後ろにいるこどもたちへの環境の提供

⑤ 「くらし・地域」に関する質問

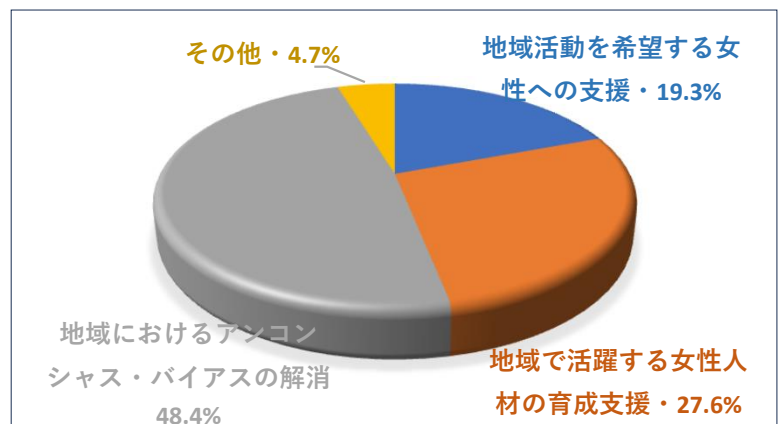
a. 栃木県は男女が平等に参画できる場が整っていると感じますか？（複数回答有り）

くらし/場の整い	129	100%
とても感じる	2	1.6%
ある程度感じる	54	41.9%
あまり感じない	64	49.6%
全く感じない	3	2.3%
回答無し	6	4.7%



b. 男女が共に暮らしやすい地域づくりについて、どのような取り組みを期待しますか？（複数回答有り）

くらし/取組み期待	192	100%
地域活動を希望する女性への支援	37	19.3%
地域で活躍する女性人材の育成支援	53	27.6%
地域におけるアンコンシャス・バイアスの解消	93	48.4%
その他	9	4.7%



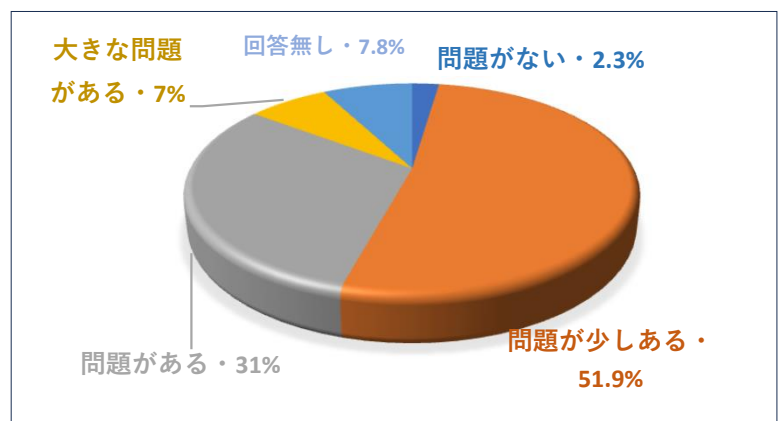
上記、その他

- ・ 意識改革
- ・ 家事・育児の分担を進める。
- ・ 教育、広報
- ・ デジタル化による活動の効率化
- ・ マネジメント講座 気軽に男女、年齢に関わらず交流・おしゃべりできる場づくり
- ・ 「おせっかいさん」に活躍してもらえるための支援
- ・ こどもを安心して預けられるサービスの普及、こどもへの支援
- ・ 企業への働きかけ、自治体、組織内での積極的な働きかけ

⑥ 「人権」に関する質問

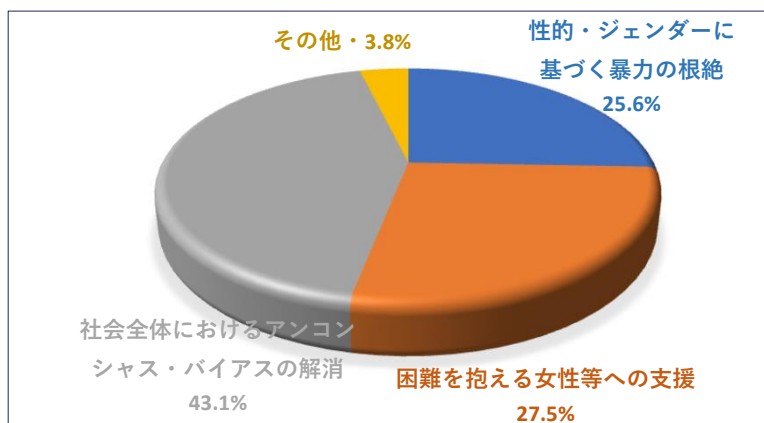
a. 栃木県の男女間の人権について、どの程度問題があると感じますか？

人権/どの程度問題	129	100%
問題がない	3	2.3%
問題が少しある	67	51.9%
問題がある	40	31.0%
大きな問題がある	9	7.0%
回答無し	10	7.8%



b. 男女共同参画の観点における人権課題の解決に向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか？（複数回答有り）

人権/解決・取り組み	件数	割合
人権/解決・取り組み	211	100%
性的・ジェンダーに基づく暴力の根絶	54	25.6%
困難を抱える女性等への支援	58	27.5%
社会全体におけるアンコンシャス・バイアスの解消	91	43.1%
その他	8	3.8%



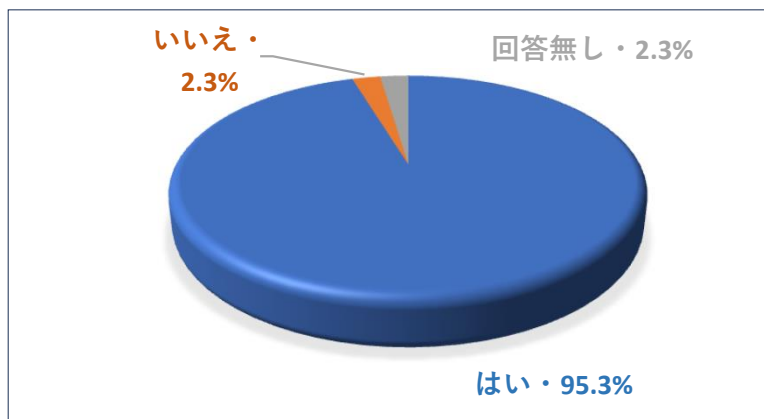
上記、その他

- ・ 教員等の意識改革
- ・ 子どもたちへの教育
- ・ 男女、年齢に関係無く機会を平等にしてほしい。
- ・ 自由や人権を基本的な価値観と考える下地がない。
- ・ 自分、家族、身近な人への思いやりから始めてほしい。
- ・ 働き方改革、女性登用
- ・ 極端な女性擁護論に流されないでほしい。
- ・ 原因療法としての性教育（RHR）や人権教育

⑦ その他の質問

a. 今回のシンポジウムを通じて、男女共同参画や女性の活躍に関して新たな気づきや学びがありましたか？

その他・新たな気づきや学び	129	100%
はい	123	95.3%
いいえ	3	2.3%
回答無し	3	2.3%



b. シンポジウムの内容や取り組みについて、改善すべき点や意見があれば教えてください。

○内容に関して

- ・ 世界的な話から地域についての話など、大小さまざまな話を聞いて勉強になった。
- ・ とても有意義だった。
- ・ 男女共同参画の課題、解決に向けての取組の重要性など、様々な気づきがあった。
- ・ 一企業だけでなく、地域、行政が協力し合い、それぞれでできることを進めていく必要性を感じた。
- ・ 女性が活躍するためには男性の理解、協力が必要
- ・ 思いやりを育てることが大切という言葉が胸に響いた。
- ・ 立場や環境の違う方達の意見や課題が聞けて良かった。
- ・ 高校生の意見に感動した。栃木の未来は明るいと思った。大人が変わる必要があると感じた。
- ・ 輝くとちぎ宣言を県全体に広めてほしい。
- ・ アンコンシャスバイアスの解消は難しく、今日のような機会を増やしたり広報を地道に続けることが必要
- ・ 管理職になりたくない人にも、キャリア形成支援を企業がしてくれることで自信につながると感じた。
- ・ 客観的データに基づく分析や可視化は是非すすめなければならない。
- ・ 男女共同参画の基本は人権にあるという話が印象深かった。
- ・ 女性活躍は目的でなく、人々が平等に生きるための手段だと知り、ジェンダー平等を正しく理解できた。
- ・ 男性の参加者は仕事上の方が多かったのでは。自主的参加者の向上を願う。
- ・ 学校での先生方の発言の重要性を考える機会となった。女性がはたらくということは子どもを産み育てる・見守ることにどのような支援が受けられるか。子どもの安心できる場所があれば働く場所も増える。
- ・ ある種の啓発活動としては意義があるが、大きな社会変革を起こすには至らない内容。新鮮味がなかった。
- ・ そもそも「人」としてが大切であり、男とか女とかではないと思う。
- ・ 男女格差がある状況については事例が出されたが、解決についての議論が少なかった。
- ・ テーマがまだ一般的でないため、関心の薄い人の参加が少なく、意識の高い人たちのシンポジウムだったのが気になった。

○実施方法について

- ・ 講演よりも5~6人のグループでの話し合いなどが良い。本音トークに時間を割いてほしい。
- ・ 企業、行政などの代表者も参加するともっと良い。
- ・ タイムテーブルどおりに進めてほしい。時間超過はありえない。
- ・ 基調講演もトークセッションももう少し時間に余裕があると良かった。
- ・ 事前に参加者の声、意見をもっと取った方が良い。
- ・ 基調講演等のパワーポイントの資料が手元にほしかった。スクリーンは文字が多く見えなかった。
- ・ パネリストに男性が少ない。
- ・ どのトークセッションにも高校生に参加してもらおうと良い。
- ・ 若い方にも参加してもらえるような企画を期待
- ・ 県内の女性団体など活躍している立場の人達の集まりは、G7より前にやるべきだった。

※主な御意見を要約させていただきました。